

資料 1

5 中交第 号
令和 6 年 1 月 日

九州運輸局長 殿

住所 福岡県中間市中間一丁目 1 番 1 号
協議会名 中間市地域公共交通会議
代表者名 会長 村上 智裕

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について

令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業に伴う事業評価を行いましたので、別添のとおり報告します。

担当部署: 中間市役所 建設産業部 都市計画課
担当者名: 濱田 達
連絡先: Tel: 093-246-6155
E-mail: juutakukoutuu@city.nakama.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月 日

協議会名: 中間市地域公共交通会議

評価対象事業名: R5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	令和5年3月9日に商業施設がリニューアルオープンしたことに伴い、同日付けで当該施設に停留所を設置し、利便性が向上するよう努めた。また、このことについて、市ホームページ、自治会の組回覧、コミュニティバスの乗客への手渡し等により周知を徹底した。	A 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 利用者 1,610人 実績: 955人 (R4) (1,181人) 収支率 20.00% 18.04% (24.61%)	利用者、収支率ともに目標値を下回っており、運行実績によると、令和5年1月から2月にかけて利用者が特に少なかった。ルート及びダイヤを更新した令和5年3月からは利用者も戻ってきているため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月 日

協議会名:	中間市地域公共交通会議
評価対象事業名:	R5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>中間市は福岡県北部に位置し、北九州市、遠賀郡及び鞍手郡に隣接している。面積は15.96km²、人口は令和5年9月末現在で39,590人である。</p> <p>近年では、少子高齢化に伴う人口の減少やマイカーの普及により、地域公共交通の利用者が年々減少傾向にある。利用者が減少し、収支が悪化することに伴い、平成25年3月には西鉄バス中山中間線が廃止となり、鉄道では無人駅が進むなど、利用者の利便性が低下している。利便性が低下することで、更なる利用者離れが起き、公共交通の負のスパイラルと言える状況が引き起こされている。</p> <p>このような状況の中で、バス路線の廃止等により身近な公共交通がない地域や、地形的に高低差のある地域の住民は、高齢化の進展とともに、日常生活を送るための移動手段に問題を抱えていることから、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(路線型及びデマンド型)を組み合わせ、市民が快適に利用できる持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>